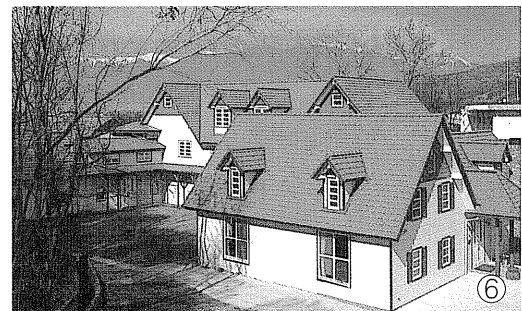
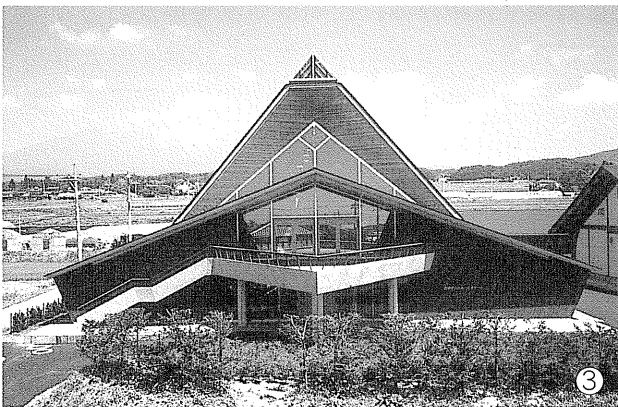
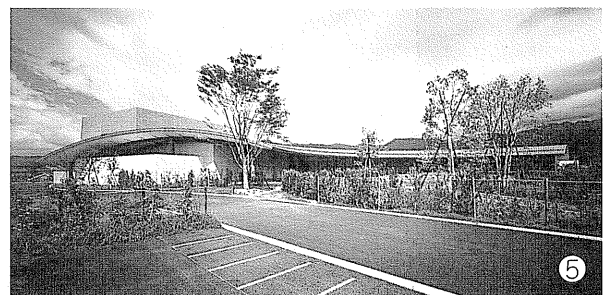
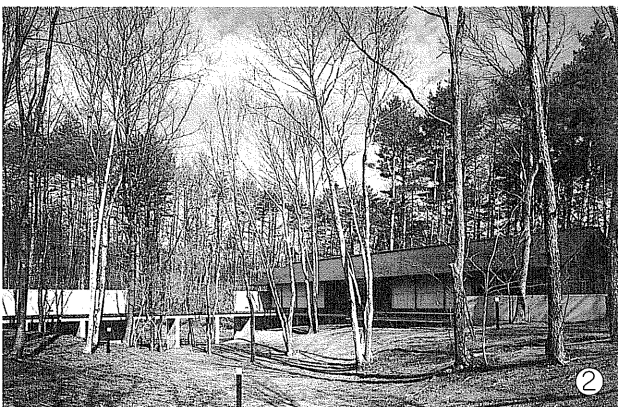
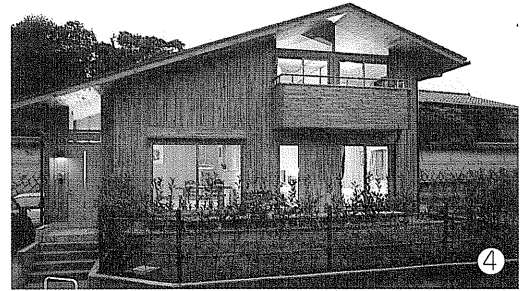
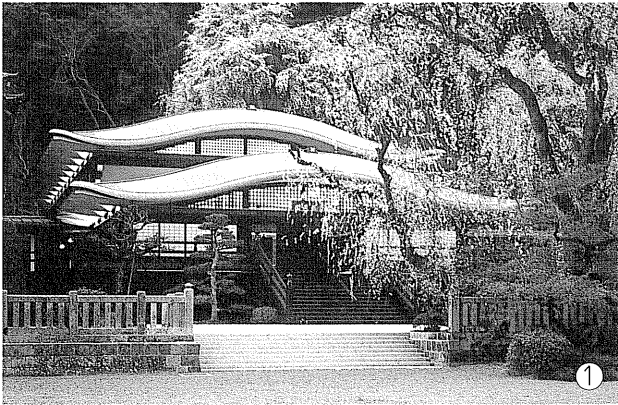


# 建築士 やまなし

No.43

— ARCHITECTURE YAMANASHI —



平成14年度  
山梨県建築文化賞等受賞作品

- ① 身延山久遠寺報恩閣（建築文化賞）
- ② 河口湖富士桜高原山荘（建築文化賞）
- ③ 高根町ふれあい交流ホール（建築文化賞）
- ④ 塩山集成材造住宅（建築文化奨励賞）
- ⑤ 東山梨行政事務組合東山聖苑（建築文化奨励賞）
- ⑥ 宮前保育園（建築文化奨励賞）
- ⑦ 高根町ふれあい交流ホール（建築文化奨励賞）

● 目次 ●

2. 年頭のごあいさつ 山梨県土木住宅課長 三井 正
3. 第45回建築士会全国大会（三重大会）によせて 受賞者の談話
4. 第37回スポーツ大会グランドゴルフに寄せて 大月支部 小田 彰
5. 建築士会継続能力開発（CPD）制度が始まりました 事務局
7. 県からのお知らせ（建築指導課・住宅課）
  - 指定確認検査機関について
  - 平成14年度山梨県建築文化賞について
  - 「地域住宅産業活性化セミナー」～やる気・元気・活気の出し方～
9. 「建築士のための指定講習会」のお知らせ
10. 会員の動静 編集後記

# 年頭のごあいさつ

「ゆとり・快適・安心・やすらぎ」を求めて

山梨県土木部住宅課長 三井 正



山梨県建築士会の皆様方には健やかな初春を迎えられたこととお慶び申し上げます。皆様方には日頃から本県住宅施策の推進に深いご理解とご協力を賜り、ここに改めて感謝申し上げます。

さて、我が国には古くから「衣食足りて礼節を知る」という諺があります。しかし社会を形成する基礎単位が家族や家庭であり、家庭は住まいをもって成り立っていることを考えると、安定した社会の形成には「住」こそ欠くことのできない要素の一つであると思います。

今我が国は、政治経済や社会構造に至るまで未曾有の大変革期のただ中にあります。既定の概念や価値観は大きく揺らぎ新たな構築が求められています。本県の住宅行政の一端を所管させていただいている私たちも、こうした変革の時代の中であって、複雑多様化する県民ニーズや社会の要請に十分応えられる住宅施策の展開を図っていかねばならないと心に刻んでいます。

国においても、「市場重視」「ストック重視」という住宅政策体系の再編、それに伴う法制度の改変整備、地方分権の推進など大きく動いています。

本県では、こうした国の動向との整合を図りながら、平成13年3月、今後の住宅政策の基本指針となる「やまなし住生活プラン21」を策定いたしました。少子高齢社会や女性の積極的な社会進出、変化するライフスタイルといった時代背景の中で、高度化多様化する住宅政策への県民ニーズを反映し、

その実現をめざして策定したものであります。

この中で今後の公営住宅の整備につきましては、エレベーターや手すりの設置をはじめ、段差の解消など施設のバリアフリー化に努め、高齢者や障害者が健常者と共に「安心」して住まえる住宅の整備に努めていくこととしています。ノーマライゼーション社会の実現には、まちから地域へ、地域から家庭へと、連続したバリアフリーの生活環境の整備が絶対要件であります。公営住宅の整備を通じて、そうした社会の実現の一翼を担って参りたいと考えています。同時に用地の有効活用により、出来る限り緑地や駐車スペースなど共有空間の確保を図り「ゆとり、快適、やすらぎ」の実現に努めて参ります。

また、施設面ではユニバーサルデザイン的な発想も是非とも導入して参りたいと考えています。

当プランが示す住宅施策の実現には、市町村等関係機関や各種団体、民間事業者や県民の方々全てのご理解とご協力が不可欠であります。とりわけ建築士会の皆様方には様々な機会を捉えて、より専門的な見地からご提言を賜り、本県特有の住宅文化・建築文化が築き上げられればと願って止みません

新年にあたり、山梨県建築士会の益々のご発展と会員各位のご活躍ご健勝を心からご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



迎春



# 第45回 建築士会全国大会

## (三重大会) 受賞者の談話

副会長

渡邊 正



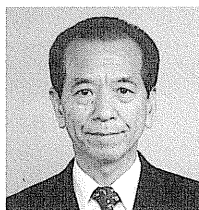
10月18日、社団法人日本建築士会連合会創立50周年記念並びに第45回建築士会全国大会が三重県伊勢市三重県営サンアリーナを会場に『環境・人間・建築の三重奏-建築士たちの新たな挑戦』をテーマに掲げ、全国各地から建築士4300名の参加のもとに盛大に開催されました。

さて、この記念すべき節目の大会におきまして私は、名取会長様・板山事務局長様等を始めとするたくさんの方々のご推薦を戴き、連合会長表彰を受賞することができました。これは身に余る光栄であり、ご支援を戴きました皆様に心から御礼を申し上げます。私自身、建築士会へ対する過去の貢献・功績等を省みますと、この受賞はただ、ただ、恐縮の極みです。しかしながら、今後は士会の発展のため、受賞にふさわしい一生懸命の努力をさせていただき覚悟を改めていたしましたので、何卒、よろしくお願い申し上げます。

伊勢市は古くから『お伊勢さん』の呼び名で親しまれ、伊勢神宮を中心として栄えた2000有余年の歴史と伝統に輝く町で、往時をしのばせる文化の薫り高い優雅な雰囲気は私達に心の安らぎを覚えさせるものでした。伊勢路も天高く秋深まり、山々が次第に色付きはじめた伊勢志摩国立公園を本大会のテーマ「環境・人間・建築の三重奏」への思いを込めながら、同行の多くの士会々員の皆様方との車中親睦・宴会親睦等の思い出は私の生涯の宝物の一つとなると確信しております。

石和支部長

天野 辰雄



第45回建築士会全国大会(三重大会)が10月18日(金)に県営サンアリーナで開催されました。

「環境・人間・建築の三重奏」をテーマにした50周年記念大会でもありました。この盛大な50周年記念大会の成功の影には、開催県の会員や各県の関係役員の皆様の御苦労があったらうと、感謝申し上げたいと思います。

さて、この大会では、私が「日本建築士連合会長表彰」を受賞させていただきました。誠に身に余る光栄で、推薦者

の山梨県建築士会会長名取様を始め、関係各位に御礼申し上げます。なお、この立派な賞は、私個人のものではなく、私の所属する石和支部の建築士会がいただいたものでもあります。よって、長年支部の活動を支援続けてきた会員皆様と共に喜びたいと思っております。

今回の三重大会へは、石和支部から27名の参加者があり、10月18日から2泊3日の日程で大型バスを貸し切り出発しました。

1日目は、式典参加と伊勢神宮への参拝をし、夜は老舗旅館戸田屋に宿泊し、大宴会で親睦を深めました。

2日目は、ミキモト真珠島で真珠加工工程を見学した後、「海の博物館」へ向かいました。ここは建築家内藤廣氏の設計で、重要有形民俗文化財収蔵庫にもなっています。ローコストと高い耐久性をテーマにした建て物であり、展示物も工夫され、小雨の降る日でしたが、多くの来館者がいました。続いて、江戸時代末期のまちなみを残した東海道53次の1つ「関宿」の散策を行いました。旅籠玉屋の歴史資料館、旧別所家のまちなみ資料館なども見学してきました。

この日は名古屋泊でした。4名の方が急用で帰宅しましたが、名古屋名物に舌鼓し、大都会の夜を楽しみました。

3日目は、名古屋市内の有名建築物を車窓より見て回りました。「オパーク名古屋」は、建築家妹島和世氏の設計によるもので、都市景観リニューアル賞作品です。既存建物外壁を含む改修店舗となっています。その他、建築家青木淳氏設計による「ルイヴィトン名古屋店」、大成建設設計施工の「オンワード樫山」など大都市における建物を実際に自分たちの目で見られる研修となりました。

石和支部の大会参加は、恒例の一大行事となり毎年楽しみにしている親睦旅行でもあります。車中は笑いが絶えず家族的な雰囲気に包まれ、忘れられない思い出をつくっています。今後も多くの参加者と大会の意義を踏まえつつ、親睦・研修が引き続けていければと願っています。ご協力頂きました関係各位に心より感謝申し上げ、三重大会の報告とさせていただきます。

北富士支部常任相談役

前嶋 信



第45回建築士会全国大会(三重大会)におきまして「日本建築士連合会長表彰」を受賞いたしましたので、ご報告いたします。推薦及び、ご支援を戴きました皆様に、心より御礼を申し上げます。

支部  
だより

# 第37回 スポーツ大会 グランドゴルフに寄せて

大月支部 小田 彰

(社)山梨県建築士会第37回親睦スポーツ大会は、今年内容を変えグランドゴルフを初めて大月支部が主管で開会させていただきました。大会運営にあたっては、支部役員をはじめ会員にも経験なくルールや所要時間等の確認も出来ず取り組みました。

市体協役員の指導を受けながら役員会を重ね会員参加の実技を行うなかから手探りで本大会の計画を行ってきました。

当大会の目的である親睦を深めまた、競技性を高めることも考慮し個人賞を多く取り入れたことにより大会の盛り上がりが高まることと考えて準備を進めました。あとは大会当日の天候を願うばかり。

当日は天候に恵まれ、猛暑にもかかわらず県内各支部より多数の会員参加をいただき、大月市総合グランド陸上競技場で開会セレモニーが行なわれ、会長挨拶、来賓の祝辞を頂き、大月市長、大月市議会副議長の始球式により二面コートを使って14チーム168名のプレイヤーが競技を競いました。

誰にでも簡単にプレイ出来、男女、年齢を問わないスポーツであることから、気楽に参加し個人プレーを楽しむ情景は、盛り上がり和気あいあいの試合光景と思えました。

本大会にご協力いただきました大月市体育協会の役員の方々には、支部を代表し心より御礼申し上げますとともに、本会役員、事務局、各支部の会員の皆様のご協力で今回初めてのグランドゴルフ大会が盛大に終了できたことを心より感謝申し上げます。

初めての運営で競技上の不手際もあったかと思いますがご理解願います。

これからも、士会のスポーツ大会が盛大に運営されますことを祈念しながら終わります。



## ◎大会成績(団体)◎

優勝 市川支部 577  
準優勝 甲府市役所 588  
第3位 都留支部 590

## ◎個人成績◎

優勝 望月善二 31  
準優勝 柳沢健夫 37  
第3位 小沢 猛 40  
第4位 市川幸治 40  
第5位 望月 隆 42  
第6位 滝川 博 42  
第7位 雨宮訓行 43

※会長賞、中村寿徳 大月支部長賞 望月三千夫  
BM賞 山田智子 猛打賞 河西真理子  
当日賞 窪田方樹 ベテラン賞 鈴木 武  
市長賞 望月秀仁

追記、今大会では、大月支部も競技結果は、思わしくありませんでしたが今後の大会には、「ガンバル」ぞ。



# 建築士会継続能力開発

## (CPD)制度が始まりました

—事務局—

### 1. 目的

- ・ 建築士会では、建築士に付託された社会的な責務を全うするために、必要な能力開発を継続的に進める。
- ・ 同時に、建築士が技術的に責任をもつ専攻領域及び専門分野に見合う能力開発の内容を社会に明示する。

### 2. 内容

- ・ 建築士の継続能力開発は、「実務による能力開発」と、それを補完する「研修による能力開発」で構成する。
- ・ 「実務による能力開発」は、建築士が日常の実務を通じて身に付ける能力開発である。
- ・ 「研修による能力開発」は、実務で得られるものの不足分を補い、体系付けるための能力開発である。

### 3. CPD参加登録

- ・ このCPD制度に参加登録できる者は、建築士会の正会員、準会員及び入会の意思を持つ建築士とする。
- ・ CPD制度に参加登録する場合は、建築士会に登録費を納入しCPD手帳の交付を受ける。

### 4. 期間と目標

- ・ 5年間を一つの期間として、その間に250単位の能力開発を行うことを推進する。
- ・ 1年間に50単位を目安とし、そのうち「実務による能力開発」を14単位程度、「研修による能力開発」を36単位程度とする。

### 5. 単位算定のしくみ

#### 1) 実務実績の単位算定

- ・ 対象とする実務実績としては建築士が誇りを持って自薦し、公開可能なもの。
- ・ 単位換算は、別表1に示すように、担当した立場及び外部からの評価により加減する。

#### 2) 研修による能力開発の単位算定

- ・ 建築士の研修姿勢による能力開発の効果を考慮して、「活動型研修」、「参加型研修」、「自習型研修」とし、別表2に示すように、積極性を反映した重みづけとする。

### 6. CPDの記録、管理、公開

- ・ 登録者は、各自のCPDを記録し、定期的に建築士会に提出する。
- ・ 建築士会は、5年ごとにそれを評価し、継続能力開発を行っている建築士と認定し、証明書を発行する。
- ・ 予定される「専攻建築士」の登録更新及び専門分野表示の認定の根拠とする。
- ・ 建築士会は、個人データとして保管・管理し、必要に応じて公開する。
- ・ 建築士会は、記録のための手帳及び記載とデータ収録のためのバーコードシールなどを作成し、提供する。
- ・ 将来は、建築士会ごとに整備されつつある建築士の個人データベースのしくみの中に組み入れて、随時、記入や追記ができるようにする。

### 7. 研修プログラムの認定、紹介

- ・ 登録者は、建築士会が行う研修のほか、建築士会「能力開発プログラム評議会」が認定した他団体、機関が行う研修プログラムを活用することができる。
- ・ 建築士会は、登録者に建築士会が行う研修とともに、能力開発に活用できるよう、ホームページ等で紹介する。

## 建築士会継続能力開発(CPD)制度単位換算表

表1 実務における能力開発 5年間70単位程度(年間14単位程度)

継続的能力開発の種別・内容	単位算定の重みづけ
1. 責任ある立場 <sup>*3</sup> での実務実績 <sup>*4</sup>	1. 1 自薦実績のうち、受賞、雑誌等紹介等社会的評価のある実績数×10 を目安に設定する  1. 2 特に社会的評価を受けていない実績では、自薦実績数×5 を目安に設定する
2. 担当者としての実務実績	2. 1 自薦実績のうち、受賞、雑誌等紹介等社会的評価のある実績数×4 を目安に設定する  2. 2 特に社会的評価を受けていない実績では、自薦実績数×2 を目安に設定する

注

\* 1:対象とする実務実績としては建築士が誇りを持って自薦し、公開可能なもの。

\* 2:単位算定の重みづけについては、地域の実情を踏まえて各建築士会で表記の範囲で設定する。中間値の設定も可とする。

\* 3:責任ある立場での実務(APECEエンジニアに倣い下記を原則とする)

a. 比較的小規模の業務について、企画、計画・設計・監理、調整、施工監理などの大半を実施した業務

b. 比較的大きな業務の一部を担当して業務全体を理解した上で関連部署との調整やチームの指導などを行う業務

c. 複雑な条件下の業務、新しい考え方が求められる業務あるいは複数の領域にまたがる業務等

\* 4:実務実績

建築士が行っている実務を建築士の業務分野、各地域の実情にふさわしい内容分類として実績を表示し、算定できるよう工夫する。

・一定期間にわたる業務、プロジェクトや継続的に数多く行なう業務については、1年間の活動報告書として提出されたもので、一定の水準にあると評価されたもの。

表2 研修による能力開発 5年間180単位程度(年間36単位程度)

継続的能力開発の種別	研修内容	単位算定方法	平成14年度用単位認定の目安(暫定)	
1. 活動型研修	1. 1 社会貢献活動型	住宅相談、町づくり活動、 応急危険度判定、住教育 支援など	活動時間×2	すべての活動について半日の場合は6単位、 一日の場合は12単位
	1. 2 情報提供型	講習会講師、各種講演、 論文発表会等	活動時間×2	自己申告制とする(印刷物など事実を証明 できる資料が必須) 単位認定は上と同様、半日は6単位、一日は 12単位
	1. 3 委員会活動型	各種委員会など(他団体 を含む)	活動時間×2(委員 長、主査等) 活動時間×1(委員)	委員会などについては、2時間として4また は2単位
2. 参加型研修	2. 1 認定研修	従来の指定講習が該当、 プログラム評議会認定 のもの	受講時間×2	講習について半日の場合は6単位、一日の 場合は12単位
	2. 2 講演会、見学会等	認定していない講習含 む	参加時間×1	自己申告制とする(印刷物など事実を証明 できる資料が必須) 半日は3単位、一日は6単位
3. 自習型研修	3. 1 認定教材による 自主研修	今後、教材認定予定 自習型研修の単位上限 12単位程度	1教材あたり1	教材ごとに単位数を設定建築士の連続講座 6ヶ月分で3単位などを予定
	3. 2 公開情報による 自主研修			

※ 平成14年度の研修による能力開発の単位については、表内右欄の(暫定)で行う。

## 県からのお知らせ

### 山梨県建築指導課

<http://www.pref.yamanashi.jp/doboku/kenchiku/>

#### ■平成15年4月から(社)山梨県建設技術センターが指定確認検査機関になる予定です。 建築確認や中間・完了検査の業務が行えるようになります。

県では、建築行政に係る業務が増大する状況において、建築行政の円滑化や県民サービスの向上を目指すため、様々な検討を行ってきました。

そこで、民間で出来るものは民間に委ねることを可能とした新しい建築確認・検査制度を積極的に推進することとし、県は(社)山梨県建設技術センターに対して「指定確認検査機関」の設立について支援してきました。

現在、(社)山梨県建設技術センターで平成15年度から建築確認・検査業務が行えるよう準備を進めています。

建築士会の会員の皆様方には、「指定確認検査機関」の設立の趣旨を御理解いただき、業務開始後の建築確認、中間検査及び完了検査の申請にあたっては、是非とも御協力をお願い致します。

#### 確認検査業務の概要(予定)

1. 業務開始予定日…平成15年4月1日
2. 業務の対象区域…甲府市、塩山市、山梨市、韮崎市、春日居町、勝沼町、石和町、御坂町、一宮町、境川村、中道町、豊富村、三珠町、市川大門町、増穂町、鯉沢町、竜王町、敷島町、玉穂町、昭和町、田富町、八田村、白根町、若草町、櫛形町、甲西町及び双葉町
3. 業務の対象建築物等…すべての建築物、建築設備及び工作物(遊戯施設を除く)

#### 「指定確認検査機関」とは、

建築基準法に基づき国土交通大臣又は知事が指定した機関で、確認業務や中間検査・完了検査業務を行うことが出来る機関です。その機関が交付する確認済証や検査済証は、特定行政庁の建築主事が交付するものと同じ効力があります。

現在、全国では90機関で業務を行っています。

なお、今までどおり県や甲府市にも確認申請等の申請はできます。

#### (社)山梨県建築技術センターとは

昭和43年に「山梨県建設コンサルタント」として発足し、昭和56年に現在の名称になりました。同センターは、建設に関する技術及び事務の改善向上を図り、山梨県内における建設事業の振興発展に寄与することを目的に建設に関する事業を行っている社団法人です。

(社)山梨県建設技術センターでは、「指定確認検査機関」として、適正な業務の実施とサービス向上に努め、皆様方のニーズに出来るだけ答えられるようにしたいと考えています。

事務所は、甲府市酒折1丁目2075-2(県立甲府東高校の南)にあります。

## ■平成14年度 山梨県建築文化賞について

快適な地域環境を形成し、景観上及び機能性等に優れた建築物等を表彰することにより、建築文化の高揚を図り、魅力と風格のある文化的で快適なまちづくりを推進するために、山梨県建築文化賞顕彰事業を実施しています。

本年度も建築士会員の皆様をはじめ多くの方々から大変素晴らしい作品をご推薦いただき、ありがとうございました。

応募142作品（住宅建築55作品、一般建築物等45作品、公共建築物等42作品）のうち、建築文化賞3作品、建築文化奨励賞4作品を昨年の11月14日に表彰しました。

なお、県のホームページに受賞作品を掲載しておりますのでご覧ください。（問い合わせ先：TEL055-223-1734）

## 平成14年度 山梨県建築文化賞等表彰建築物一覧表

賞の名称	部 門	建築物の名称	所 在 地	建 築 物 の 概 要				建 築 主	設 計 者	施 工 者	
				用 途	工事種別	構造	階数・高さ				延べ面積
建 築 文 化 賞	一般建築物等	身延山久遠寺 報恩閣	南巨摩郡身延町	寺 院 事 務 所	新築	木 造 一 部 R C 造	地上2階 地下1階 11.01m	1,436.44㎡	身延山久遠寺	株式会社 日建設計	株式会社竹中工務店
	一般建築物等	河口湖 富士桜高原山荘	南都留郡鳴沢村	ゲストハウス (厨房・食堂 ・倉庫等)	新築	木 造	地上1階 5.50m	125.05㎡	N様	大成建設株式会社 設計本部 尾畑 剛	大成建設株式会社
	公共建築物等	高根町 ふれあい交流 ホール	北巨摩郡高根町	集 会 場	新築	木 造 一 部 R C 造	地上2階 12.55m	1,719.11㎡	高根町長 大柴 恒雄	榊柳澤孝彦+TAK 建築研究所 代表 柳澤 孝彦	榊新津組・富士島 建設共同企業体
建 築 文 化 奨 励 賞	住 宅 建 築	塩 山 集成材造住宅	塩 山 市	住 宅	新築	集成材造	地上2階 6.60m	104.32㎡	鎌田 様	榊結設計 代表取締役 藤原 昭夫	佐藤建設工業㈱ 代表取締役 佐藤 義輝
	公共建築物等	東山梨行政事務組合 東山聖苑	山 梨 市	火 葬 場 斎 場	新築	S R C 造・ S 造	地上2階 11.00m	2,039.49㎡	東山梨行政事務組合 管理者 三枝 剛	株式会社 山下設計 代表取締役社長 横山 孝治	榊早野組・ 藤原建設㈱ 共同企業体
	良好なまちなみ 景観を形成して いる建築物等	宮前保育園	甲 府 市	保 育 園	新築	木 造	地上2階 9.63m	1,255.09㎡	社会福祉法人宮前福祉 理事長 浅原登美子	榊リーフ・ クリエイツ 寄尾 憲司	榊早野組 代表取締役社長 早野 潔
	良好なまちなみ 景観を形成して いる建築物等	高根町 ふれあい交流 ホール	北巨摩郡高根町	集 会 場	新築	木 造 一 部 R C 造	地上2階 12.55m	1,719.11㎡	高根町長 大柴 恒雄	榊柳澤孝彦+TAK 建築研究所 代表 柳澤 孝彦	榊新津組・富士島 建設共同企業体

### ■「地域住宅産業活性化セミナー」のお知らせ

◆日 時 2月10日(月) 13:20~15:00

受付 12:30~13:20

開会 13:20~13:30

講演 13:30~15:00

◆テーマ 「やる気・元気・活気の出し方」

◆講 師 津田妙子様 (株)スリーマインド教育センター代表取締役社長

◆会 場 山梨県市町村自治会館 講堂(1階)

◆主 催 山梨県(住宅課)

◆対 象 県内住宅産業関係者、一般県民、行政職員等

◆定 員 100人

◆参加料 無料

◆お申込み (社)山梨県建築士会会員の方は、建築士会事務局(TEL 055-233-5414)

山梨県建設組合連合会会員の方は、連合会事務局(TEL 055-232-8845)

以外の方は、県住宅課に電話にてお申込みください

◆お問い合わせ 県住宅課 計画担当 竹下・金丸(TEL 055-223-1731)

#### ◎講師プロフィール等

1987年 話力研究所入所 天性の声のよさ、表現力の豊かさを発揮して一躍人気講師となる。

1990年 ダイヤモンド教育事業部講師となり、社員をやる気にさせる「プラス思考動機づけ講演」が大変な人気を呼ぶ。

1993年 (株)スリーマインド教育センター代表となり、落ち込んだり悩んでいる普通の人を日常活動の中から勇気づけ、

元気を持たせるマインドアップ研修で教育研修の世界に旋風を巻き起こした。

現在、日本で最も売れている女性講師の一人であり、講師の話の「浸透力」は「津田マジック」と呼ばれ、高い評価を得ております。一度、この機会にこの講演を聴かれることをお勧めします。

#### 山梨県住宅課

<http://www.pref.yamanashi.jp/doboku/jutaku/>



— 継続能力開発 (CPD) 認定講座 <12単位> —  
平成14年度 国土交通大臣・山梨県知事指定

## 「建築士のための指定講習会」のお知らせ

主催 (社) 山梨県建築士会  
(社) 日本建築士会連合会

### 1. 日時・会場

#### (イ) 甲府会場

日時 平成15年2月5日(水) 9:30~17:00 (受付  
開始9:00より)

会場 山梨県文学館 講堂 甲府市貢川1丁目5-35

#### (ロ) 都留会場

日時 平成15年2月14日(金) 9:30~17:00 (受付  
開始9:00より)

会場 富士女性センター 3階大研修室  
都留市中央三丁目9-3

### 2. 受講対象者

建築士一般

### 3. 定員

甲府会場 300名 都留会場 150名(定員になり  
次第締め切ります)

### 4. 受講料(テキスト代込み)

会員 12,000円 会員外 14,000円

なお、欠席者にはテキストはお渡しできませんが、  
受講料の半額を返金します。

### 5. 申込方法

別紙申込書に必要事項を記入の上、受講料を添えて(社)  
山梨県建築士会事務局へ1月31日(金)までに申し込  
んで下さい。

なお、郵送またはFAXでお申し込みの方は受講料を  
下記銀行口座へお振込みの上、振込受領書のコピー  
を添えて下さい。また写真と封筒は当日、ご持参下さい。

【振込先】 山梨中央銀行本店 普通 1007224  
(社)山梨県建築士会 会長 名取藤彦  
テキストは当日会場でお渡し致します。

### 6. 受講者が用意し提出するもの

(1) 顔写真1枚 寸法(ヨコ25ミリ、タテ30ミリ)  
カラーまたは、モノクロ写真

※写真の裏にそれぞれ、会員は氏名、会員外は県  
名及び氏名を記載して下さい。

(2) 封筒1枚「受講修了証」を受講者宛送付用の封筒  
※宛名を記入し、80円切手を貼って下さい。

### 7. 受講修了証(カード)原稿の提出

◎この指定講習会の受講者は、知事に報告されます。  
このため「受講修了証(カード)原稿」を当日お渡  
し致しますので必要事項を記載の上、講習会終了  
時に受付まで提出して下さい。

◎受講者には主催者の「受講修了証」を発行致します。  
建築士事務所の新規又は更新の際に必要となり  
ますので必ず受講して下さい。

### 8. その他

講習会場内での食事ができませんのでご注意下さい。  
なお、駐車場にも台数の制限がありますので乗合で  
お願いします。

### 9. 申込先

(社)山梨県建築士会 事務局

甲府市丸の内一丁目14-19 山梨県建設会館4階

TEL 055-233-5414 FAX 055-233-5415

## 連合会誌『建築士』掲載「私の推薦する作品」推薦作品の募集について

本建築士会として連合会に推薦する作品を選考  
するため、下記により作品を募集します。

#### ○応募要件

平成12年以降に竣工した本建築士会会員設計の  
作品で、地方性に富んだ芸術的なもの。

#### ○募集期間 平成15年2月10日必着

#### ○提出図書

・ 建築概要(書式任意)

設計者名、名称、所在地、用途、構造階数、延べ面積、  
設計意図(150字以内)

・ 図面(コピー可)

配置図、平面図、断面図、短形図

・ 写真(カラー、キャビネ判)

外観3点以上、内観2点以上

○提出先 建築士会事務局

○選考方法 会長・副会長が推薦作品1点を選考